

令和 8 年 度

編入学生募集要項

(入 学 案 内)
(出 願 書 類 添 付)



独立行政法人国立高等専門学校機構

福井工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Fukui College

〒916-8507 福井県鯖江市下司町

TEL (0778) 62-8290 (学生課直通)

FAX (0778) 62-2490 (学生課直通)

E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp

学生募集要項の内容に変更が生じる場合があります。変更がある場合は、本校ホームページにてお知らせしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

【本校ホームページ】 <https://www.fukui-nct.ac.jp/>

目 次

令和8年度編入学生募集要項

1	募集学科, 募集人員及び編入学年, 日程	1
2	アドミッション・ポリシー	1
3	編入学者へのアドミッション・ポリシー	2
4	選抜の基本方針	2
5	出願資格	2
6	出願手続	
(1)	出願受付	3
(2)	出願書類等	4
(3)	出願方法	5
(4)	受験票の交付	5
7	選抜方法等	
(1)	選抜方法	5
(2)	学力検査等の期日及び場所	5
(3)	学力検査等の時間	5
8	受験上の注意	6
9	学力検査科目の出題科目等	7
10	合格者の発表等	8
11	編入学確約書の提出	8
12	追試験の実施	8
13	入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	9
14	その他	9

入学案内

1	本校の概要	10
2	福井工業高等専門学校使命	10
3	編入学生の受入目的	10
4	教育課程	10
5	課外活動	11
6	編入学時に要する経費	11
7	入学料・授業料の減免及び徴収猶予	11
8	奨学制度	11
9	学生保険制度	11
10	学寮	12
11	卒業後の進路	12
12	入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて	12

別表 教育課程表

(1)	一般科目	13
(2)	専門科目	14

出願書類用紙（綴じ込み）

編入学願書, 推薦書, 写真票・受験票

令和8年度編入学生募集要項

1 募集学科、募集人員及び編入学年、日程

募 集 学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 電 子 情 報 工 学 科 物 質 工 学 科 環 境 都 市 工 学 科	各学科とも 若干名	第4学年

出 願 期 間	令和7年8月20日（水）～8月22日（金）
選 抜 期 日	令和7年9月5日（金）
合 格 者 発 表	令和7年9月11日（木）
編 入 学 確 約 書 提 出	令和7年10月10日（金）午後4時まで

2 アドミッション・ポリシー

求める学生像（本科共通）

福井高専では、優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者の育成に努めています。そのため、次のような人の入学を期待しています。

本校の教育を受けるために必要な素養と基礎学力が備わっている人で

1. 本校が目指すものづくり及び環境づくりに関する学習に興味がある人
(養成すべき人材像の専門性)
2. 新しい目標に向かってチャレンジし、社会に貢献したい人
(養成すべき人材像の創造性)
3. 技術者としてグローバルな視野を持ち、国際社会で活躍したい人
(養成すべき人材像の国際性)
4. 仲間と積極的にコミュニケーションをとり、共同して課題に取り組もうとする人
(養成すべき人材像の人間性)
5. 周囲の人たちを尊重し、社会規範を守る人 (養成すべき人材像の人間性)

各学科の求める学生像

機械工学科

機械工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 自動車、飛行機、ロボットなどの機械システムや、環境、福祉、宇宙工学などの分野に興味がある人
- (2) サイエンスを学び、ものづくりに創造性を発揮して、人間社会に貢献したい人
- (3) 機械を創る材料、動かすエネルギー、制御する情報など幅広い技術を身に付けたい人

電気電子工学科

電気電子工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 電気自動車や太陽光発電などに使われる環境にやさしいクリーンエネルギーや新素材技術を学びたい人
- (2) ロボット，システム，コンピュータなどを動かすための電子制御やプログラミング技術を学びたい人
- (3) 情報家電や光通信などに使用する電子回路や情報通信技術を学びたい人

電子情報工学科

電子情報工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) コンピュータの構造や仕組みに興味があり，高度なプログラミング技術を習得したい人
- (2) ネットワークを活用したり，AI ロボットを動かすプログラムを作りたい人
- (3) 最先端のICTシステム・サービスの開発をやってみたい人

物質工学科

物質工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 化学と生物の力により人々の健やかな生活に貢献したい人
- (2) 化学的手法を用いて有用物質や新しい材料を生み出すことに興味がある人
- (3) 微生物や遺伝子組換え技術等の生物機能を活用した物質生産や環境浄化に興味がある人

環境都市工学科

環境都市工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 自然と共生したくらしを営む環境づくりに興味がある人
- (2) 快適なくらしを共有するための建物とまちづくりに興味がある人
- (3) 災害から人々のくらしを守るシステムづくりに興味がある人

3 編入学者へのアドミッション・ポリシー

本校準学士課程への編入学者に関しては上記の他に以下のポリシーを設けます。

- (1) 高等学校において理数系または工学の基礎を習得した人，または教育機関等において同様の学力を獲得したと認められる人
- (2) 希望する学科の教育目標・教育課程を十分に理解し，自主的・積極的に学業に取り組む姿勢を有する人

4 選抜の基本方針

編入学生の選抜

調査書，学力検査，作文及び面接の結果を総合的に評価して選抜します。

学力検査は，専門科目(200点)，数学(150点)，英語(100点)の3教科による試験とします。

5 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者で、在籍(出身)学校長が推薦する者とします。

- (1) 高等学校および中等教育学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 外国において12年の教育課程を修了した者（令和8年3月までに修了見込みの者を含む）
- (3) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（高等学校卒業程度認定試験に合格した者）で、編入学時において18歳に達する者

※ 出願資格（2）又は（3）で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、7月18日（金）までに本校入学試験係まで電話等により照会してください。

ただし、出願できる学科と在籍(出身)学校における所属科との関係は、次のとおりです。

学 科	在籍(出身)学校における所属科
機 械 工 学 科	機械工学に関する科
電気電子工学科	電気電子工学に関する科
電子情報工学科	所属科を問わない。
物 質 工 学 科	所属科を問わない。
環境都市工学科	土木工学又は建築学に関する科

6 出願手続

- (1) 出願受付

受 付 期 間	令和7年8月20日（水）から令和7年8月22日（金）まで
受 付 時 間	午前9時から午後4時まで (郵送の場合は、8月22日(金)午後4時までに必着のこと。)
受 付 場 所	独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 学生課入学試験係 〒916-8507 鯖江市下司町

(2) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
編 入 学 願 書	所定の用紙により，必要事項を記入してください。
推 薦 書	所定の用紙により，在籍(出身)学校長が作成したものとしします。
調 査 書	在籍(出身)学校が定める様式により，在籍(出身)学校長が作成したものとしします。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	在籍(出身)学校が定める様式としします。
写真票・受験票	所定の用紙により，必要事項を本人が記入し，写真票の所定欄に写真を貼ってください。 写真は，令和7年4月以降に撮影したもので，上半身脱帽，正面向き，縦6cm，横4.5cmのものを貼ってください。
検 定 料	16,500円 志願者は，本校が指定する振込先口座に必ず<u>入学志願者本人名</u>で振り込んでください。 なお，振込時に別途必要な<u>振込手数料は入学志願者本人の負担</u>となります。 ※ATM（現金自動預払機），金融機関窓口のいずれかの振込を受け付けます。なお，振込が証明できるもの（ATMでの「ご利用明細書」，振込日付のある振込証明書）をA4サイズの白紙の用紙に貼付し提出してください。 （振込先口座） I 銀行名 福井銀行（0147） II 支店名 鯖江支店（200） III 預金種別 普通 IV 口座番号 1164926 V 口座名義 トクコクリツコウトウセンモンガツコウキコウホフ
受験票送付用封筒	郵送で出願する場合は ，長形3号(120mm×235mm)の封筒に，志願者の住所，郵便番号及び氏名を記入し，410円分の切手(速達料金分)を貼ってください。

※ 受理した出願書類及び検定料は返還しません。

ただし，次の場合は検定料の返還請求ができます。

- (1) 検定料を払い込んだが，出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は受理されなかった）場合

(2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

・返還請求の方法

①返還請求の理由，②氏名(ふりがな)，③現住所，④連絡先電話番号，⑤振込口座の金融機関名，支店名，預金種別，口座番号，口座名義(志願者本人)を明記した「検定料返還請求書」(様式自由)を作成し，下記送付先へ速やかに郵送してください。(封筒には「返還請求書在中」と記入してください。)

なお，返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

返還請求期限 令和8年2月20日(金)午後5時必着

送付先 〒916-8507 鯖江市下司町 独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校総務課財務係

(3) 出願方法

出願者は，前記(2)の出願書類等を**在籍(出身)学校を経由して提出**してください。

なお，**郵送の場合は**，封筒の表に「編入学願書在中」と朱書きし，必ず「書留速達郵便」にしてください。

(4) 受験票の交付

① 出願書類等を持参により受理したときは，その場で交付します。

② 出願書類等を郵送により受理したときは，受験票送付用封筒により郵送します。

なお，受験票が願書受付締切日から3日間を過ぎても届かないときは，学生課入学試験係に照会してください。

7 選抜方法等

(1) 選抜方法

編入学生の選抜は，学力検査(作文を含む。)，調査書及び面接の結果を総合して判定します。

(2) 学力検査等の期日及び場所

期 日	令和7年9月5日(金)
場 所	福井工業高等専門学校 鯖江市下司町 (裏表紙の「本校の位置と利用交通機関等」参照)

(3) 学力検査等の時間

専門科目	数 学	英 語	作 文	面 接
9:00～10:40	11:00～12:20	13:10～14:00	14:15～14:55	15:25～

8 受験上の注意

- (1) 当日は、午前 8 時 30 分までに、学力検査室（専攻科棟）に集合してください。
- (2) 検査開始後、20 分を経過した場合は、原則として受験できません。また、1 科目でも受験しないと受験資格を失います。
- (3) 受験者は、受験票、筆記用具、昼食を持参してください。
なお、受験票を紛失した場合は、必ず受付に届け出て指示を受けてください。
- (4) 上履きは、必要ありません。

9 学力検査科目の出題科目等

学力検査科目等		出 題 科 目	出 題 範 囲
一般科目	数 学	数 学 I 数 学 II 数 学 A 数 学 B 数 学 C	全範囲(数と式, 図形と計量, 二次関数, データの分析) 全範囲 (いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数, 微分・積分の考え) 「図形の性質」「場合の数と確率」 「数列」「統計的な推測」 「ベクトル」
	英 語	英語コミュニケーションI 論理・表現 I	全範囲 全範囲
専門科目	機 械 工 学 科	機 械 設 計	機械に働く力と運動, 機械に与えられたエネルギーと仕事及び動力の関係, 材料の強さ, 機械要素と装置
		機 械 工 作 製 図	機械材料, 各種の工作法 製図の基礎, 機械分野の製図・設計製図
	電 気 電 子 工 学 科	電 気 回 路	直流回路, 電気と磁気, 静電気, 電磁誘導, 交流回路(三相交流を除く。)
		電 子 回 路 物理基礎・物理	電子回路 電気・電子に関すること。
	出題範囲の中から選択解答する。		
	電 子 情 報 工 学 科	情 報 I プログラミング技術 ハードウェア技術	} ハードウェア, ソフトウェア, プログラミング } 直流回路, 静電気, 磁気, 交流回路
		電 気 回 路 物 理	
	出題範囲の中から選択解答する。		
物 質 工 学 科	物 理 基 礎	全範囲	
	物 理 化 学 基 礎 化 学	電気と磁気を除く。 全範囲 全範囲	
目	環 境 都 市 工 学 科	測 量	写真測量を除く。
		土木構造設計 建築構造設計 土木基盤力学	} 構造物と力, 梁の外力, 梁の内力, 梁に生じる応力 水の物理的性質, 静水圧, 水の流れ, 管水路, 開水路, 土の基本的性質, 土中の水の流れ, 地中の応力, 土の圧密 建築と環境, 住宅の計画, 建築の移り変わり
		建 築 計 画	
土木基盤力学と建築計画については, どちらかを選択解答する。			
作 文	課題を与える。		

(備考) * 専門科目で, 電卓が必要な場合は貸与します(CASIO fx-260A)。

10 合格者の発表等

- (1) 合格者の発表は、令和7年9月11日（木）午後1時に、本校に掲示するとともに、本校ホームページ上でも発表します。（<https://www.fukui-nct.ac.jp/>）
- (2) 在籍（出身）学校長には、合格者の合格通知書を添えて、同日付けで郵送により選抜の結果を通知します。

11 編入学確約書の提出

合格者は、在籍（出身）学校長の確認を得て、編入学確約書を令和7年10月10日（金）午後4時までに学生課入学試験係へ提出してください。郵送する場合は、必ず「書留速達郵便」にしてください。

なお、期限までに、編入学確約書を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

12 追試験の実施

「編入学生の選抜」において、下記に掲げる志願者を対象として追試験を実施します。

- (1) 対象者：感染症等に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者、発熱や咳等の症状があり感染症の疑いがある者、又は月経随伴症状による体調不良の者で、医師の診断書又はそれに類すると判断できる証明書等を有する者。
- (2) 追試験日：令和7年9月12日（金）
- (3) 受験地：本校
- (4) 合格通知日：令和7年9月19日（金）
- (5) 入学確約書の提出期限：令和7年10月10日（金）午後4時

13 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

福井工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。合理的配慮の例として、検査時間の延長、問題用紙の拡大、座席位置の指定、別室での受験、車椅子の使用、補聴器・ルーペなど器具の持ち込み等があります。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課入学試験係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和7年7月18日（金）を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容

は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第三次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)高等学校、特別支援学校入学前の支援状況に関する資料が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課入学試験係までご相談ください。

ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 本校学生課入学試験係

TEL (0778) 62-8290

FAX (0778) 62-2490

E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp

14 その他

- (1) 提出した書類の記載事項の変更は、認めません。
- (2) 提出した書類に事実と相違した記載があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

入 学 案 内

1 本校の概要

本校は中学校卒業生を受入れ、早期から5年一貫の技術教育を行い、多様化、グローバル化した社会に貢献できる実践的技術者を育成する国立の高等教育機関です。本校では技術教育を行って技術立国を担い日本の未来を拓く有能なエンジニアを養成します。

本校卒業時には「準学士」と称することができます。さらに高度な科学技術の教育と密度の濃い研究指導を希望する学生のために、専攻科が設置されており、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を経て、「学士（工学）」の学位を取得することができます。

本校では「環境生産システム工学」教育プログラムが編成されており、このプログラムを本科4、5年と本校専攻科で履修することにより、社会の要求水準を満たした教育を受けたことが証明されます。

2 福井工業高等専門学校の使命

(1) 基本理念

優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する。

(2) 教育方針

- ・技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる。
- ・個性を伸長し、独創的能力の開発に努力する。
- ・教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する。
- ・健康の増進に努め、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する。
- ・規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達な資性の涵養を図る。

3 編入学生の受入目的

高等専門学校は、大学と同様の高等教育機関で、5年間の一貫教育により、深く専門の学芸を教授し、豊かな教養と高度な専門技術を身に付けた技術者を養成することを目的としています。

本校の編入学制度は、こうした高等専門学校設立の趣旨に鑑み、高度の技術習得の機会を高等学校等の卒業者にも等しく与えようとするものです。

4 教育課程

教育課程は、一般科目（各学科共通）及び専門科目に分かれ、各学科ごとの授業科目、単位等は、別表のとおりであり、編入学生は、第3学年までの単位は修得したものとし、第4・5学年の授業科目を履修します。

なお、別表の教育課程表は令和8年度編入学生対象のもので、改訂されることがあります。

5 課外活動

健全な精神と健康な肉体を養い、更に豊かな人間性を養い、楽しい学生生活を送るため、課外活動を奨励しています。

6 編入学時に要する経費

費 目		金 額	備 考
入 学 料		84,600円(予定額)	
授 業 料		117,300円(予定額)	前期分(年額 234,600円)
その他 の必要 経 費	教科書代等	35,000円	概算
	日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金	1,550円	年額
	学生会会費	7,000円	年額
	諸経費	22,000円	前期分(後期以降 12,000円)

(注) 規則が改正された場合は、金額が変更になることがあります。
在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

7 入学料・授業料の減免及び徴収猶予

これまでの国の高等教育の修学支援新制度（授業料・入学料減免等）について、令和7年度から支援が拡充し、子ども3人以上の世帯に対する無償化が始まっています。

また、令和6年度より福井県独自の多子世帯の授業料減免制度も始まっています。

8 奨学制度

日本学生支援機構や地方公共団体、各奨学育英団体等の奨学金制度があります。

詳しくは、本校学生課学生生活係にお問い合わせください。

9 学生保険制度

授業又は課外活動中の不測の事故に対し、医療費、災害見舞金等の給付を受ける日本スポーツ振興センター災害共済があります。これには、本校の学生は全員加入しています。

10 学 寮

自宅からの通学が困難な者のため、定員244人（うち女子56人、留学生若干名）の学寮が校内に設置されており、申請に基づき選考の上、入寮が許可されます。なお、入寮経費は次のとおりです。

費 目		金 額	備 考
寄宿料（1人室）		800円	月額
その他の 必要経費	寮 費（光熱水費等）	7,000円	月額
	食 費	26,000円	月額（概算）
	エアコンリース代	3,400円	月額（予定）
	食 器 代	4,400円	入寮時のみ
	寮生会費	2,000円	年額

（注）個人で使用した電気料は別途必要となります。

11 卒業後の進路

（1）就 職

卒業生は、産業界、官公庁等の広い分野において、大学卒業者と同一ような職種に従事し、優れた技術者として高い評価を得て活躍しています。

（2）進 学

進学を希望する者に対しては、本校を含めて高等専門学校に設置されている専攻科（本科卒業後の2年課程）への進学や大学の3年次への編入学の制度があり、本校卒業生もこれらの制度を利用しています。

なお、令和6年度卒業の進学者数は76名で、進学先は次のとおりです。

福井工業高等専門学校専攻科、北海道大学、北見工業大学、東北大学、群馬大学、千葉大学、東京科学大学、電気通信大学、横浜国立大学、長岡技術科学大学、金沢大学、福井大学、信州大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学、和歌山大学、富山県立大学、兵庫県立大学

12 入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜や本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究のために利用するとともに、合格者に対しては、次の目的のためにも利用します。

- （1）入学後の教育・指導
- （2）入学料、授業料の免除申請の審査
- （3）奨学金申請の審査
- （4）本校教育後援会及び同窓会の事務

教 育 課 程 表

*教育課程表は令和8年度編入学生対象のもので、改訂されることもあります。

(1) 一 般 科 目

各 学 科 共 通

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	国語	国語Ⅰ	2	2					留学生は対象外
		国語Ⅱ	2		2				
		国語Ⅲ	2			2			
		国語表現	2				2		
	社会	公共社会Ⅰ	2		2				留学生は対象外
		公共社会Ⅱ	1			1			
		公共社会Ⅲ	1			1			
		歴史Ⅰ	2	2					
	数学	歴史Ⅱ	2		2				
		地理Ⅰ	1	1					
		地理Ⅱ	1	1					
		基礎解析Ⅰ	4	4					
	理科	基礎解析Ⅱ	3	3					
		解析Ⅰ	4		4				
		線形代数	2		2				
		解析Ⅱ	3			3			
	保健体育	解析Ⅲ	2				2		
		物理基礎	2	2					
		物理	3		3				
		化学Ⅰ	2	2					
	芸術	化学Ⅱ	2		2				
		生物	1	1					
		保健体育Ⅰ	4	4					
		保健体育Ⅱ	2		2				
	外国語	保健体育Ⅲ	2			2			
		生涯スポーツ実習	2				2		
		美術	1		1				
		音楽	1	1					
	英語	英語Ⅰ	4	4					
		コミュニケーション	2	2					
		英語Ⅱ	4		4				
		英語Ⅲ	4			4			
	外国語	英語Ⅳ	2				2		留学生は対象外
		英語Ⅴ	2					2	
		第2外国語Ⅰ	2				2		
		工学倫理	1					1	
	修得単位計			79	29	24	13	10	3
選択必修科目	第2外国語Ⅱ		1					1	2単位以上修得すること
	第2外国語Ⅲ		1					1	
	言語文化特講		1					1	
	日本語表現演習		1					1	
	日本文学論		1					1	
	哲学		1					1	
	歴史学特講		1					1	
	数学特講		1					1	
	英語特講		1					1	
	他大学等科目(一般)		1					1	
修得単位計			2以上					2以上	
修得単位合計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	13	10	5以上	
外国人留学生修得単位計			73以上	29	24	9	6	5以上	
特設科目(必修)	日本語Ⅰ		2			2			留学生のみ対象
	日本語Ⅱ		2				2		
	基礎数学		2			2			
	基礎物理		2			2			
修得単位計			8			6	2		
外国人留学生 修得単位合計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	15	8	5以上	

(2) 専 門 科 目

機 械 工 学 科

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	数理統計学	2			2			
	応用数学	2				2		
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	専門基礎Ⅰ	2	2					
	専門基礎Ⅱ	2	2					
	専門基礎Ⅲ	2	2					
	C言語基礎	1		1				
	C言語応用	1			1			
	機械計算力学	1					1	
	材料学Ⅰ	1		1				
	*材料学Ⅱ	2			2			
	機械工作法Ⅰ	2		2				
	機械工作法Ⅱ	1			1			
	材料力学Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅱ	2				2		
	熱力学	2				2		
	*伝熱工学	1					1	
	流れ学Ⅰ	1			1			
	流れ学Ⅱ	2				2		
	工業力学	2				2		
	機構学	1				1		
	機械設計法	2				2		
	*自動制御Ⅰ	1					1	
	振動工学Ⅰ	1					1	
	*センサ工学	1				1		
	電気工学	2			2			
	電子工学	2				2		
	機械製図	4		4				
	機械設計製図Ⅰ	3			3			
	機械設計製図Ⅱ	2				2		
	CAD・CAE	1					1	
	機械工作実習Ⅰ	4		4				
	機械工作実習Ⅱ	3			3			
	メカトロニクス実習	1			1			
	知能機械演習	2				2		
	機械工学実験Ⅰ	2				2		
	機械工学実験Ⅱ	2					2	
	卒業研究	9					9	
	修 得 単 位 計	78	6	12	20	24	16	
選択科目	材料力学Ⅲ	1					1	7単位中5単位 以上修得
	*熱機関	1					1	
	*流体機械	1					1	
	自動制御Ⅱ	1					1	
	振動工学Ⅱ	1					1	
	システム工学	1					1	
	*材料科学	1					1	
	修 得 単 位 計	5以上					5以上	
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習	1			1		
	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	1		1			2単位以上 修得すること
		電力エネルギー工学	1		1			
		電磁場エネルギー基礎	1				1	
		環境科学	1				1	
		環境保全工学	1			1		
	情報・制御群	他大学等科目(学際)	2以内			2以内		2単位以上 修得すること
		# ロボットシステム	1				1	
		電子計測制御	1				1	
		情報・制御基礎	1		1			
		コンピュータ化学	1			1		
	材料科学群	空間情報工学	1		1			2単位以上 修得すること
		他大学等科目(学際)	2以内			2以内		
		機械材料	1			1		
		電気電子材料	1		1			
		センサ材料工学	1				1	
	材料科学群	有機・高分子材料	1		1			2単位以上 修得すること
		建設材料	1				1	
		他大学等科目(学際)	2以内			2以内		
		修 得 単 位 計	2以上			2以上		
		修 得 単 位 計	3以上			3以上		
	修得単位合計 (卒業認定必要単位数)		86以上	6	12	20以上	24以上	21以上
	学際カリキュラム除く 学際カリキュラム含む		86以上	6	12	20以上	24以上	21以上
						68以上		

* : 学際連携科目 # : 専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電気電子工学科

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当					備 考	
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
必修科目	数理統計学	2			2				
	応用数学	2				2			
	応用物理Ⅰ	2			2				
	応用物理Ⅱ	2				2			
	専門基礎Ⅰ	2	2						
	専門基礎Ⅱ	2	2						
	専門基礎Ⅲ	2	2						
	電気磁気学Ⅰ	2		2					
	電気磁気学Ⅱ	2			2				
	電気磁気学Ⅲ	1				1			
	電気数学	1		1					
	電気回路Ⅰ	2		2					
	電気回路Ⅱ	2			2				
	電気回路Ⅲ	2				2			
	電気回路Ⅳ	2					2		
	電気回路演習	2		2					
	計測工学	2			2				
	電子工学Ⅰ	2			2				
	*電子工学Ⅱ	2				2			
	電子回路Ⅰ	1			1				
	電子回路Ⅱ	2				2			
	情報処理Ⅰ	2		2					
	情報処理Ⅱ	1			1				
	情報処理システム論Ⅰ	2			2				
	*情報処理システム論Ⅱ	2				2			
	情報通信工学Ⅰ	2				2			
	電気機器	2				2			
	発電工学	2				2			
	制御工学Ⅰ	1				1			
	制御工学Ⅱ	1					1		
	機械工学概論Ⅰ	1				1			
	機械工学概論Ⅱ	2					2		
	電子創造工学	2			2				
	電気電子工学実験Ⅰ	2		2					
	電気電子工学実験Ⅱ	2			2				
	電気電子工学実験Ⅲ	4				4			
	電気電子工学実験Ⅳ	2					2		
	卒業研究	9					9		
	修 得 単 位 計	78	6	11	20	25	16		
選択科目	*電気電子応用工学	1					1	8単位中5単位 以上修得	
	*情報通信工学Ⅱ	1					1		
	*現代制御工学	1					1		
	*電気電子設計	1					1		
	*電気情報工学	1					1		
	技術者基礎	1					1		
	*電力系統工学	1					1		
	パワーエレクトロニクス	1					1		
	修 得 単 位 計	5以上					5以上		
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習	1			1		群別に修得すること	
	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	1		1				
		電力エネルギー工学	1		1				
		電磁場エネルギー基礎	1				1		
		環境科学	1				1		
		環境保全工学	1			1			
		他大学等科目(学際)	2以内			2以内			
	情報・制御群	ロボットシステム	1				1		
		# 電子計測制御	1				1		
		情報・制御基礎	1		1				
		コンピュータ化学	1			1			
		空間情報工学	1		1				
		他大学等科目(学際)	2以内			2以内			
	材料科学群	機械材料	1			1			
		電気電子材料	1		1				
		センサ材料工学	1				1		
		有機・高分子材料	1		1				
		建設材料	1				1		
		他大学等科目(学際)	2以内			2以内			
	修 得 単 位 計		2以上		2以上				
	修 得 単 位 計		3以上		3以上				
	修得単位合計 (卒業認定必要単位数)		86以上	6	11	20以上	25以上	21以上	
						70以上			

*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 （単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする）

電子情報工学科

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当					備 考	
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
必修科目	数理統計学	2			2				
	応用数学	2				2			
	応用物理Ⅰ	2			2				
	応用物理Ⅱ	2				2			
	専門基礎Ⅰ	2	2						
	専門基礎Ⅱ	2	2						
	専門基礎Ⅲ	2	2						
	機械工学概論	2				2			
	電子工学基礎	2		2					
	電気回路	2			2				
	信号解析基礎	1				1			
	電子回路Ⅰ	2			2				
	電子回路Ⅱ	2				2			
	電気磁気学Ⅰ	1			1				
	電気磁気学Ⅱ	2				2			
	数値計算	1			1				
	情報メディア工学	2				2			
	工業英語	1					1		
	情報工学基礎	1		1					
	情報基礎演習	1		1					
	プログラミング基礎	2		2					
	プログラミング応用	2			2				
	情報ネットワーク基礎	1			1				
	論理回路	1		1					
	計算機構成論Ⅰ	2			2				
	計算機構成論Ⅱ	1				1			
	オペレーティングシステム	2			2				
	創造工学演習	2				2			
	ソフトウェア工学	1				1			
	情報構造論	2				2			
	制御工学	2						2	
	通信システム	1						1	
	情報ネットワーク	1						1	
	情報理論Ⅰ	1				1			
	情報理論Ⅱ	1						1	
	電子情報工学実験Ⅰ	4		4					
	電子情報工学実験Ⅱ	4			4				
	電子情報工学実験Ⅲ	4				4			
	電子情報工学実験Ⅳ	2						2	
	卒業研究	9						9	
	修 得 単 位 計	79	6	11	21	24	17		
選択科目	* 情報数学	1						1	8単位中4単位 以上修得
	* 人工知能	1						1	
	* 計算機アーキテクチャ	1						1	
	* デジタル信号処理	1						1	
	* システム工学	1						1	
	* 計算機シミュレーション	1						1	
	* 認知科学	1						1	
	* データベース	1						1	
	修 得 単 位 計	4以上						4以上	
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習	1				1		
	環境エネルギー群	熱流体エネルギー概論	1			1			2単位以上 修得すること
		電力エネルギー工学	1			1			
		# 電磁場エネルギー基礎	1					1	
		環境科学	1					1	
		環境保全工学	1				1		
	情報・制御群	他大学等科目(学際)	2以内				2以内		2単位以上 修得すること
		ロボットシステム	1					1	
		電子計測制御	1					1	
		情報・制御基礎	1			1			
		コンピュータ化学	1				1		
	材料科学群	空間情報工学	1			1			2単位以上 修得すること
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内		
		機械材料	1				1		
		電気電子材料	1			1			
		# センサ材料工学	1					1	
	材料科学群	有機・高分子材料	1			1			2単位以上 修得すること
		建設材料	1					1	
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内		
		修 得 単 位 計	2以上				2以上		
		修 得 単 位 計	3以上				3以上		
	修得単位合計 (卒業認定必要単位数)		学際カリキュラム除く 学際カリキュラム含む		86以上	6	11	21以上 24以上 21以上 69以上	

* : 学際連携科目 # : 専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

物質工学科

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備 考	
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
必修科目	共通	数理統計学	2			2				
		応用数学	1				1			
		応用物理Ⅰ	2			2				
		応用物理Ⅱ	2				2			
		専門基礎Ⅰ	2	2						
		専門基礎Ⅱ	2	2						
		専門基礎Ⅲ	2	2						
		基礎工学概論	1				1			
		工業英語	1				1			
		分析化学Ⅰ	1		1					
		分析化学Ⅱ	1			1				
		機器分析	2				2			
		無機化学Ⅰ	2		2					
		無機化学Ⅱ	1			1				
		無機化学Ⅲ	1					1		
		基礎材料化学	1				1			
		有機化学Ⅰ	2		2					
		有機化学Ⅱ	2			2				
		高分子化学	1			1				
		有機合成化学	1					1		
		物理化学Ⅰ	2			2				
		物理化学Ⅱ	2				2			
		*物理化学Ⅲ	2					2		
		化学工学Ⅰ	2			2				
		化学工学Ⅱ	2				2			
		*化学工学Ⅲ	2					2		
		生化学Ⅰ	2			2				
		生化学Ⅱ	2				2			
		生命科学	1					1		
		情報化学Ⅰ	2		2					
		*情報化学Ⅱ	2				2			
		品質管理	1					1		
		物質工学実験Ⅰ	5		5					
		物質工学実験Ⅱ	4			4				
		卒業研究	8					8		
	生物工学コース	微生物学	2				2		コース別に修得すること	
		食品科学	2					2		
		分子生物学	2					2		
		生物工学実験Ⅰ	4				4			
		生物工学実験Ⅱ	2					2		
	材料工学コース	材料化学	2				2			
		材料工学	2					2		
		反応工学	2					2		
		材料工学実験Ⅰ	4				4			
		材料工学実験Ⅱ	2					2		
	修 得 単 位 計		81	6	12	19	22	22		
選択科目	共通	*創薬化学	1					1	コース別に、4単位(共通及びコース修得すること。別開設単位数の合計)中2単位以上修得すること。	
		*食料生産工学概論	1					1		
	生物学コース	生理学	1					1		
		栄養化学	1					1		
	材料学コース	応用電気化学	1					1		
		高分子材料設計	1					1		
	修 得 単 位 計		2以上					2以上		
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習	1				1		群別に修得すること	
	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	1			1				
		電力エネルギー工学	1			1				
		電磁場エネルギー基礎	1					1		
		環境科学	1					1		
		環境保全工学	1				1			
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内			
	情報・制御群	ロボットシステム	1					1		
		電子計測制御	1					1		
		情報・制御基礎	1			1				
		コンピュータ化学	1				1			
		空間情報工学	1			1				
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内			
	材料科学群	機械材料	1				1			
		電気電子材料	1			1				
		センサ材料工学	1					1		
		有機・高分子材料	1			1				
		建設材料	1					1		
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内			
	修 得 単 位 計		2以上				2以上			
	修 得 単 位 計		3以上				3以上			
	修得単位合計 (卒業認定必要単位数)		86以上	6	12	19以上	22以上	24以上		
			学際カリキュラム除く 学際カリキュラム含む				68以上			

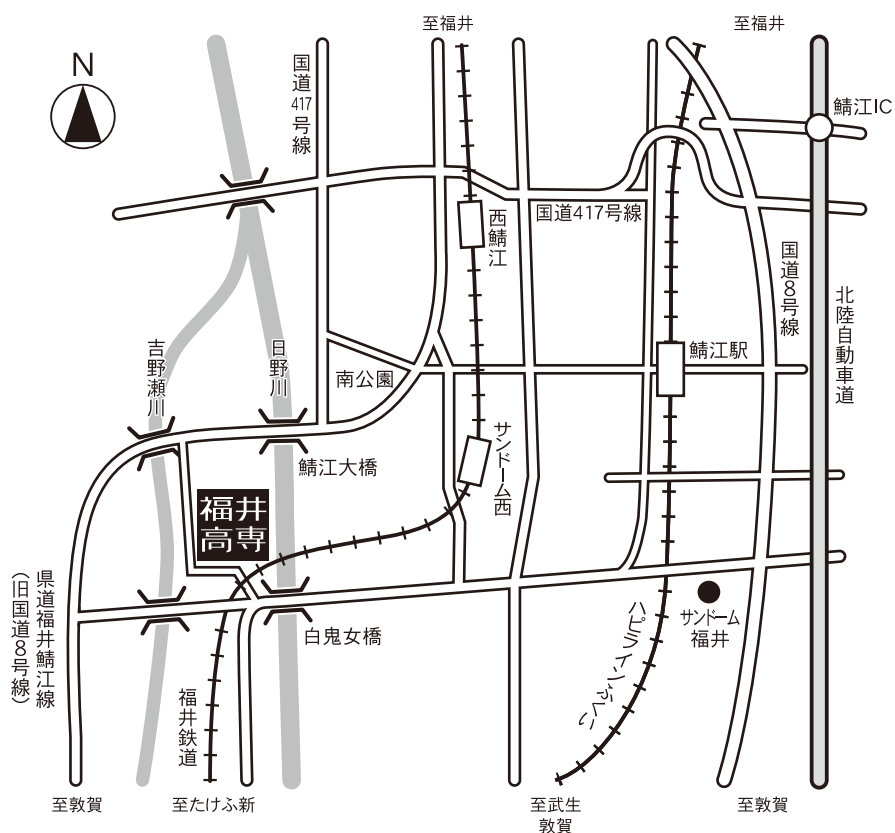
*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

環境都市工学科

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当					備 考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	数理統計学	2			2				
	応用数学	2				2			
	応用物理Ⅰ	2			2				
	応用物理Ⅱ	2				2			
	専門基礎Ⅰ	2	2						
	専門基礎Ⅱ	2	2						
	専門基礎Ⅲ	2	2						
	プログラミング	1		1					
	数値解析	1					1		
	構造力学Ⅰ	2		2					
	構造力学Ⅱ	2			2				
	構造力学Ⅲ	2				2			
	鋼構造学	2					2		
	コンクリート構造学Ⅰ	2				2			
	建設材料学Ⅰ	1		1					
	建設材料学Ⅱ	1			1				
	建設複合材料	1					1		
	水理学Ⅰ	2			2				
	水理学Ⅱ	2				2			
	河川水文学	1					1		
	地盤工学Ⅰ	2			2				
	地盤工学Ⅱ	2				2			
	環境衛生工学	2			2				
	建築環境Ⅰ	1				1			
	建築設備Ⅰ	1					1		
	測量学	2		2					
	応用測量学	1			1				
	環境都市計画論	2			2				
	交通工学	2				2			
	施工管理学	2				2			
	建設法規	1					1		
	構造デザイン	1					1		
	建築計画Ⅰ	1		1					
	建築計画Ⅱ	2				2			
	環境都市工学設計製図Ⅰ	2		2					
	環境都市工学設計製図Ⅱ	2			2				
	環境都市工学設計製図Ⅲ	2				2			
	環境都市工学設計製図Ⅳ	2					2		
	環境都市工学実験実習Ⅰ	2		2					
	環境都市工学実験実習Ⅱ	2			2				
	環境都市工学実験実習Ⅲ	2				2			
	卒業研究	9					9		
	修 得 単 位 計	79	6	11	20	23	19		
選択科目	* 地盤防災工学	1					1	14単位中4単位 以上修得	
	* 地震工学	1					1		
	* コンクリート構造学Ⅱ	1					1		
	* 地域都市計画	1					1		
	* 海岸工学	1					1		
	* メンテナンス工学	1					1		
	建築史	1					1		
	建築意匠	1					1		
	* 建築環境Ⅱ	1					1		
	* 建築設備Ⅱ	1					1		
	* 建築計画Ⅲ	2					2		
	環境都市工学設計製図Ⅴ	1					1		
	特別学修	1					1		
	修 得 単 位 計	4以上					4以上		
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習	1			1		群別に修得すること	
	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	1		1				
		電力エネルギー工学	1		1				
		電磁場エネルギー基礎	1				1		
		環境科学	1				1		
		環境保全工学	1			1			
	情報・制御群	他大学等科目(学際)	2以内			2以内			
		ロボットシステム	1				1		
		電子計測制御	1				1		
		情報・制御基礎	1		1				
		コンピュータ化学	1			1			
	材料科学群	空間情報工学	1		1				
		他大学等科目(学際)	2以内			2以内			
		機械材料	1			1			
		電気電子材料	1		1				
		センサ材料工学	1				1		
	修得単位合計	有機・高分子材料	1		1				
		# 建設材料	1				1		
		他大学等科目(学際)	2以内			2以内			
		修 得 単 位 計	2以上			2以上			
		修 得 単 位 計	3以上			3以上			
	修得単位合計 (卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	11	20以上	23以上		
		学際カリキュラム含む				69以上			

*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

本校の位置と利用交通機関等



(利用交通機関等)

- (1) 福井鉄道福武線「西鯖江駅」下車，徒歩約20分
- (2) ハピラインふくい「鯖江駅」下車，徒歩約25分，タクシーで約7分
- (3) ハピラインふくい「武生駅」下車，タクシーで約15分

【編入学生選抜に関する問い合わせ先】

〒916-8507 福井県鯖江市下司町
独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校
学生課入学試験係

TEL (0778) 62-8290 (学生課)
FAX (0778) 62-2490 (学生課)
E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp
URL <https://www.fukui-nct.ac.jp/>



Since
1965

Creativity
and
Curiosity

福井高専